キミウタ作品カード

曲名 My Own Road —僕が創る明日(あした)—

梅野知子 作詞・作曲

この曲は！

授業のはじめや集会の場などで、気持ちを一つにして歌えるようなノリのいい歌としてつくられました。作者の梅野知子さんは、この歌を通して、後悔しない人生のために自分自身で考え進むべき道を選ぶこと、その新しい一歩を踏み出す勇気を伝えています。混声のユニゾンと、男声・女声それぞれの旋律の生き生きとしたハーモニーの取り合わせが魅力の一つです。歌っていて晴れやかな気持ちになる、爽やかなビートの効いた大人気曲です。

藤原式練習法

休符やブレスを意識して「リズム読み」をしよう

1. 音を取る前にまずは歌詞を読み、そこから旋律のリズムを全員で手拍子したり、音程を付けずにリズムだけで歌詞を読んだりします。
2. 休符やブレスなどの位置を意識して、もう一度読んでみましょう。例えば、冒頭の「何を」で切りたくなるかもしれませんが、「何を目指しているのか」まではノンブレスです。中途半端な箇所で切ると、メロディーのエネルギーが損なわれてしまうので、フレーズが切れないように心掛けましょう。
3. シンコペーションのリズムや、タイなどの伸ばす音符を正しく捉えるよう注意しましょう。重要な部分にマーカーを付けることも効果的です。ここまで意識してリズムを読むことができれば、フレーズが前に向かっていきたい気持ちを感じられると思います。

具体的なアドバイス・ポイント

- 曲の構成を理解して歌うことが大事です。混声のユニゾンで始まり、メロディーとヴォカリーズのハモリという声部の役割が変化しながら進んでいきます。その場面が変わる瞬間を意識して歌ってください。パート練習では、ハモリの部分から音取りを始めると、練習時間を短縮できると思います。
- 36小節から３声が同時に動き、そして40小節目に向かって、全員の音がそろうところに気持ちよさがあります。音の方向性を意識しましょう。
- Eからはエネルギッシュに歌うことが大事です。ここでは、跳躍進行と順次進行がとても効果的に使われています。それぞれの進行性がもつエネルギーを感じ取りながら歌ってみましょう。

この曲を初めて歌う人に

比較的歌いやすい曲なので、メロディーを覚えて自分がいちばん好きなところを見つけて、どんどん歌ってみてください。むしろ、歌いたくなると思うので、思いのままに、大いに楽しんで取り組んでほしいと思います。そして仲間と歌う喜びをいっぱい感じてください。

表現を深めよう

前奏から気持ちを盛り上げていくことが大切です。私は、この前奏の８小節で子どもたちに教室中を走り回ってもらったり、自転車を思いっきりこぐ動きだったり、そういう遊びを取り入れています。好きなだけ動いてから、その場で静止して歌い始めると、ミュージカルのような臨場感があふれ、より気持ちをのせて歌うことができます。自分たちで自由な振り付けをしながら歌ってもおもしろいかもしれません。

より感動的に歌い上げるためのアドバイス

「強弱によるメリハリ」と「声の色」を意識しましょう。強弱が効果的に書かれているので、忠実に表現してメリハリを付けること。そして、メロディーラインが声部で入れ替わるので、どうしてこの場面では、男声がメロディーなのかなど、声の色を考えながら歌ってみてください。自由に楽しく歌える曲だからこそ、音楽的な構造を少し理解して表現すると、より深まっていきます。また、借用和音など和声の扱い方も魅力的な作品です。曲のおいしいところを指導者が理解できていれば、指揮をするときのエネルギーのもっていき方にも役立ちます。

ご指導の先生は生徒さん以上にこの曲が好き！という感覚をもち、その気持ちを音楽で、指揮で、ピアノで表すことが生徒さんの喜びを引き出すことにつながります。

全国各地にすてきな歌の輪が広がりますように！！